情報電子工学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、〇は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

第11回科学技術におけるロボット教育シンポジウム 学会名 大学初の技能五輪全国大会移動式ロボットへの挑戦 演題名 〇平山圭太(帝京大学情報電子工学科2年),髙橋大地(同左),<u>波江野勉</u>、<u>蓮田裕一</u> 発表者 技能五輪全国大会において「移動式ロボット」の種目が行われている。この競技では競技コート内に任意に 設置された2種類のボールを荷物に見立て、配達エリア内のカゴまで運搬する際のその正確さと速さを競 う。この競技では、ボールを収集・運搬するためのカメラとセンサを用いて移動式ロボットを制御する。 技能五輪の移動式ロボットの分野は課題が極めて困難であるので、2017年に栃木県で開催された第55回全 内容 国大会まで大学生が参加したことはない。帝京大学宇都宮キャンパスとして、また地元栃木県からの要請も 有り、学生のロボットサークル「ロボラボ」から選手を派遣し、大学初の技能五輪ロボット部門に参加し た。本研究ではmyRIOとLabVIEWを用いた技能五輪競技用ロボットの設計製作について報告するととも に、大学生が初めて参加した全国大会までの軌跡を示している。 第11回科学技術における 技能五輪全国大会で昨年初めて ポットの種目が採用された。 はボールを収集、運搬する正確 本研究ではmyRIOとLabVIEWを用 五輪競技用ロボットの設計製作 報告するとともに、大学生が初参加 関連画像 国大会までの軌跡を示す。 全長:530